## 令和7年度第1回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

## 議事要旨

(大) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1				
日時	令和7年6月	23日(月) 午後1時30~午後3時		
場所	碧南市役所	7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議委員	■小池市長         □石川委員       ■横山委員       ■原田委員         ■磯貝委員       ■細川委員       ■請井委員         □岩崎委員       ■今成委員       ■加藤委員         ■安藤委員       □稲生委員       ■天野委員         ■鈴木委員       □神谷委員       ■高須委員		
	事務局	生田企画財政部長、山本企画政策課長、杉浦企画政策課長補佐、 神谷主査、磯貝商工課長、亀島農業水産課長、中川環境課長		
傍聴者	0名			
次第		南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について 業版ふるさと納税及び包括連携協定について		
<ol> <li>市長あい</li> <li>さつ</li> </ol>	○市長よりあ	いさつ		
2~5	○2から議長	録及び資料は市のホームページで公開することを説明 (市長)により進行、事務局から資料説明 見交換により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主なる	<u>-                                      </u>			
次第2よりの意	 見			
横山委員	6年度の実 が、日本人 か。この数 ○商店街とし かと予想し	元気あふれる地域づくりの数値目標、「転入超過数」について令和 :績で日本人が186人減少し外国人が246人増えということだ の減少については自然減か、それとも転出が多かったということ :字はすごく多かったのか、例年通りか。 では外国の方が市の人口の8.9%、このまま10%程度になる でいたが、外国人の転入が減ってくるとなると話が変わってくる まま減ってしまうのか。		
事務局	○日本人の減 日本人の転 より少なく ○社会の状況 が減ったと	少数については自然減が多いが例年と同じ傾向である。同じく、 入転出については例年とあまり変わらない。外国人の転入が例年 、転入超過数が少なくなった。 が掴みづらいところではあるが、景気が冷え込み、外国人の転入 考えられるが、外国人の人口に占める割合はだいたい1割くらい 持していくと考えられる。しかし人口自体が減少していく局面に		

ある。

次第3よりの意	GE II
加藤委員	○企業版ふるさと応援寄附支援業務委託について、当協会加入銀行の関連会社
加索女員	の方で支援できるパッケージを設けている。2年3ヶ月の期間で50の自治
	体と連携し、寄附数200件、寄付総額3億5,600万円の実績がある。積
	極的に推し進めるという話があるなら、支援させていただくことができるの
	でぜひ連携を進めていきたい。
事務局	○ぜひ連携を図っていきたい。
次第4よりの意	-
高須委員	○池下公園の周りに公園に遊びに来た方々が車を列にして停めている。子供の
	飛び出しもあり危険な状況である。
	○市役所の東側駐車場について、イベント等の会議で夜に訪れる際、特に雨の
	日には、碧南高校生のお迎えに来ている親御さんで駐車場が満車になり、利
	用しづらくなっている。
事務局	○市役所の駐車場について、会議開催の際には駐車場がきちんと確保できるよ
	う、担当部署へ伝える。
鈴木委員	○他市のプールに行った際、小学校2年生の男の子が一緒に来た母親と更衣室
	が別々になっていたため、嫌がって帰ってしまったということがあった。碧
	南市のプールやお風呂では、何年生から男女別になっているのか?
事務局	○担当部署に確認させていただく。
天野委員	○産業道路が整備され、走りやすくなった。衣浦グランドホテルが再開され、
	嬉しく思っている。あおいパーク、明石公園、水族館などがあり、ホテルも再
	開された。アジア競技大会に向けて、碧南の魅力を積極的に対外的にアピー
	ルし、観光客の誘致や入込客の増加を目指してほしいと思う。そこで碧南の
	魅力に気付いていただき経済循環が生まれ、できれば碧南の中の方にも人を
	寄せこんでお金を落としていただくような循環ができればと思う。折々で報
	道をさせていただくので、話題づくり等、ますます動きが活性化できるよう
	な取り組みをしていっていただきたい。
事務局	○グランドホテルについて、地元の企業の方々がタッグを組まれて再開してい
	ただいた。市からも10年間に限って、建物の方の固定資産税を半分にする
	支援策をしている。市としても全面的に応援していきたいということでやっ
	ている。以前休館する前にグランドホテルで作っているローストビーフがふ
	るさと納税の返礼品でとても人気だった。この先また新たな返礼品製品の開
	発や、返礼品として宿泊できるプラン等の検討等、打合せを始めている。産業
	道路沿いは誘客施設がたくさんあるので、有効利用し連携していきたいと考
	えている。

安藤委員	○ハローワークの現状について
<b>文</b> 麻女员	ハローワーク碧南の新規求職者数及び職業相談件数のうち全体の4分の1を
	外国人が占めている。県内の他のハローワークの中でも突出して多い状況で
	ある。しかし、外国人の就業率においては全体の10分の1ほどである。定住
	者や永住者の方でも日本語が話せない方が多く、言葉の壁が大きな問題とな
	っている。ハローワーク碧南にはポルトガル語の通訳が常駐しているがそれ
	でも追いつかない状況である。自治体、ハローワーク、企業等で連携して日本
	語能力を上げるようなことが何かできないか、考えていきたい。
	○若年層について
	企業訪問をしている中で必ず言われるのが、「若い方の採用が非常に厳しい」
	ということ。実際に、令和7年3月新規の高卒者雇用状況において、求人数
	40,097人に対して就職希望者8,320人で有効求人倍率4.82となっている。
	地域内には大手企業が多く、地元の企業へ就職希望者が回ってこない現状が
	ある。ハローワーク単独では解決が難しいため、行政機関、経済団体、地元企
	業で連携できればと考えている。意見交換ができるような体制づくりができ
	ればありがたい。
事務局	○若年層の人口減少と、大学進学率の増加により、高卒で就職する若者が減少
	している。そのため地元企業への高卒の就職希望者も減少しており、地域の
	企業の人材確保が難しくなっている。そうした中で、若年層の中でも例えば
	引きこもり状態にある方々のような、職につけていない方のサポートをする
	窓口を昨年度モノづくりセンターに開設した。今年度からは市役所本庁舎に
	窓口を設置し、引き続き連携をしている。
	新卒者のみならず、若年層の離職率も高くなっている。若年層の離職者の中
	途採用についても、企業とのマッチングの機会創出に注力するなど支援して
	いきたい。引き続きご協力をお願いします。
市長	○日本語教室を毎週日曜日の午前中に文化会館でやっている。情報提供させて
	いただく。
加藤委員	○碧南中央駅前の駐車場が整備され車の乗り入れしやすくなった。一方で駅周
	辺のお店が少なく、少し寂しい印象を持っている。今後の碧南中央駅前の商
	業開発や計画があれば教えていただきたい。
事務局	○現在、中央駅周辺においては、市として特段の開発計画は持っていない。一
	方で、北新川駅周辺については、開発の計画策定に着手している段階である。
	碧南中央駅については、駅舎内に店舗がなく、2階部分も封鎖されたままと
	なっている現状がある。これらの課題については、名鉄側とも問題意識は共
	有しているが、現時点では具体的な進展には至っていない状況である。
	11 O C. DW CONTENT OF DELICIONS OF THE CONTENT OF T

横山委員	○令和7年度の商店街の事業の予定について
	10月頃から、来年度9月から開催されるアジア競技大会を盛り上げるため、
	街路灯に応援バナーを飾っていく。
	お店での買い物でスタンプが獲得できるスタンプラリーを開催している。こ
	れまでに令和5年度に2回、令和6年度に1回開催した。応募者数は1回目
	1,300人、2回目1,700人、3回目3,500人で、20人に1人が応募した状況
	である。令和7年度は人口の10%にあたる7,000人を応募の目標にしてい
	る。
	○デジタルクーポンを是非発行していただきたい。
	○防犯カメラの設置に関しては、商店街で街路灯に防犯カメラを設置している。
	今後も商店街として協力し、さらなる設置を進めていきたい
	○外国人来街者への対応については、商店街の各店舗が対応できるよう、通訳
	アプリの紹介や対応セミナーの開催などを考えている。
事務局	○碧南市の賑わいづくりに関して今後も引き続き、市の方と商店街連盟と協力
	してやっていきたい。アジア競技大会についても、県の事務局や担当部署と
	も連携して盛り上げていきたい。
	○デジタルクーポンについては、予算が6月議会で採択された場合、より効果
	的に盛り上げるための施策について、相談させていただきたいと考えている。
原田委員	○お米の相場について、消費者にとっては安価な方が望ましい一方で、生産者
	の立場からは適正な価格が維持されることが必要。早期に適切な落としどこ
	ろを見出してほしいと考えている。これまで農協は中立的な立場で価格の大
	きな変動を抑えてきた。作況指数について、実際には昨年も一昨年も米の収
	穫量は十分ではなく、数値に疑問を呈する報道もあり、その点が注目された
	ことは良かった。天候次第で米の状況は不透明であり、こうした状況につい
	てご理解いただきたい。なお、今期は小麦が豊作となり、この地域ではしその
	収穫も始まった。農協の産直も好評で盛況となっています。ぜひ多くの方に
	足をお運びいただきたいと考えている。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
磯貝委員	○近況報告について
	今年のうなぎの稚魚は豊漁となっている。4月からはトリ貝の漁も始まり、
	こちらも順調。4月中旬からはシラスやちりめんの漁も好調に推移している。
	イワシについても現時点では順調な兆しが見られる。
事務局	○良い話が聞けて良かったです。
細川委員	○来月7月に碧南市で全国市長会港湾都市協議会が開催される。港湾は市民の
	皆様にあまり馴染みがない分野だが、沖縄で開催された港湾協会の全国大会
	で市長が意見発表し、YouTube で港湾を紹介するなど、衣浦港の重要性を PR
	していただいていることに感謝している。
	○8月3日には名古屋港ガーデンふ頭にて清龍丸の一般公開が予定されてい
	る。

市長	○この 1 年間で、港湾の重要性を認識し訴えて参りました。委員の皆様にも碧
	南市のYouTube登録をぜひお願いいたします。全国の大きな大会で碧
	南市をPRできたことに感謝しています。
請井委員	○全国的には、学校給食費の無償化、高校世代までの医療費無償化、屋内運動
	場の空調設置、この3つの問題がよく取り上げられる。屋内運動場の空調設
	置について、具体的計画を教えていただきたい。
事務局 課長	○学校給食費ついては、3月議会を経て、この6月議会に小学校3学期の給食
	費無償化の議案を上程している状況。
	○空調設置については、今年2校設計、来年2校設置工事のように順次2校ず
	つ中学校からやっていく。
今成委員	○地域経済の活性化のため、事業者数の減少を防ぎ、増加させていくことを目
	指し、スタートアップ支援や後継者不在企業への支援に力を入れている。令
	和6年度における県内の創業・スタートアップ向け融資は、1,476件(前年比
	14%増)、総額 78 億円となり、件数・金額ともに4年ぶりの増加となった。
	この背景には、スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の効果が大きかった
	と考えられる。
	現在、刈谷市は「STATION Ai」のパートナー拠点として提携しており、岡崎
	市も提携を検討中である。これを踏まえ、碧南市としても「STATION Ai」と
	の連携を図る予定があるかどうか、教えていただきたい。
事務局	○現状では、まだ具体的に「STATION Ai」とどのように関わっていくかのイメ
	ージが明確になっていない状況である。創業チャレンジに対する補助事業を
	実施しており、創業者数は微増しているものの、持続可能な事業運営ができ
	るよう支援を行う伴走型の支援体制が必要と考えている。